

製品名: XPC マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82915**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	106kDa

抗原情報

遺伝子名	XPC
別名	XP3; RAD4; XPCC; p125
遺伝子 ID	7508.0
SwissProt ID	Q01831
免疫原	哺乳類で発現したヒト XPC (AA: 32-133) の精製された組み換え断片。

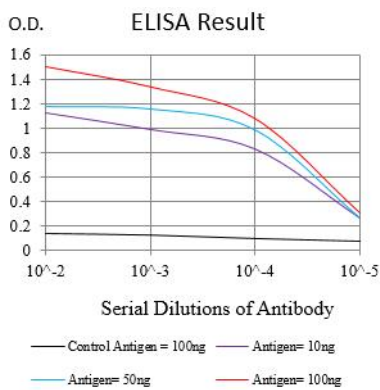
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、XPC 複合体の主要構成要素であり、ゲノム全域ヌクレオチド除去修復 (NER) の初期段階で重要な役割を果たします。コードされるタンパク質は、損傷の検知と DNA 結合に重要であり、一本鎖 DNA を優先的に結合

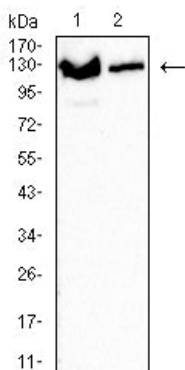
します。この遺伝子または他の NER 構成要素の変異は、まれな常染色体劣性遺伝疾患である色素性乾皮症を引き起こす可能性があります。この疾患は、日光に対する感受性の亢進と若年期の癌発症を特徴とします。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

研究分野

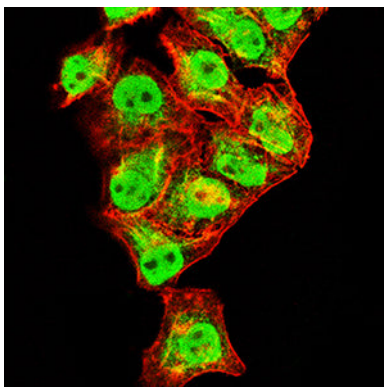
画像データ



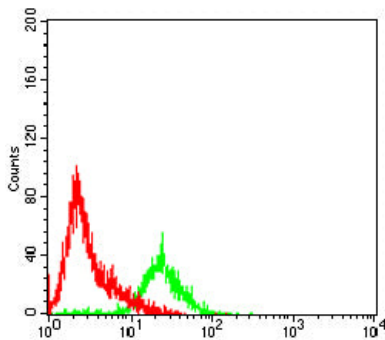
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



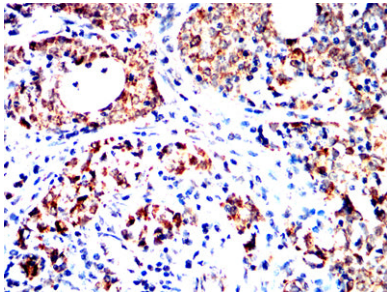
Jurkat (1) および HeLa (2) 細胞溶解物に対する XPC マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



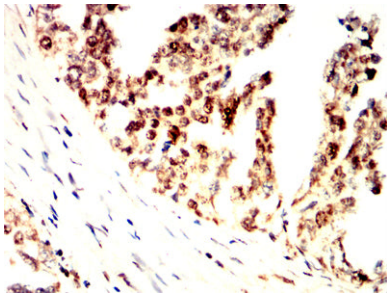
XPC マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



XPC マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



XPC マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



XPC マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。